**第２５回観察会　2005年４月27日(木) 12:00～12:55　晴れ**

**テーマ『咲きかた、散りかた、実りかた』**

**☆ガイドレポート植物編**

我々の観察会も２周年、第２５回をむかえました。記念に当日お越しいただいた方々には京大生協職員情報号に連載中の「植物園のいきものたち」を抜き刷りして参加者に配布しました。今後もたくさんのかたに足を運んでいただけるように、スタッフ一同努力していきます。

植物園内には、植栽された植物もあれば、自生している植物もあります。しかしどの植物もただそこにいるのではなく、開花し、結実し、自らの遺伝情報を残すというサイクルを循環させています。

春のお花見がそうであるように、花の時季にその花だけを眺める、ということだけが植物と私たちの接点となりがちですが、そこから少しだけ進んで、少しだけじっくりと「観察」してみる時間を提供することを、考える会の観察会では重視しています。

今回は４月下旬の開催で、モモやサクラは散ったあとで多くの草の花が咲いていました。咲いているといっても咲き方も様々で、花と実りつつある果実が同時に見られるものなどもありました。なかでもカンサイタンポポとセイヨウタンポポについて説明しました。セイヨウタンポポはほぼ１年中花を咲かせ、花と同時に綿毛のついた種子を実らせていますが、一方でカンサイタンポポは春のみに咲き、有性生殖が成功した場合のみ種子を実らせることが出来ます。

近縁で似通った植物が近接して生育し花を咲かせる現象は興味深いものですが、タンポポ２種の場合は、カンサイタンポポがセイヨウタンポポよりもやや湿った環境に生育していることを観察しました。両者は直接的な競争関係にあるというより、環境の違いが局所的な分布を決定しているのだろうと、考えをめぐらせました。

花が観察された植物（順不同）：　　　　　　　　　　　　　　　　　　カンサイタンポポ、セイヨウタンポポ、サギゴケ、トキワハゼ、イモカタバミ、ヘビイチゴ、キツネノボタン、ハルジオン、オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、コデマリ、ゲンペイシダレモモ、フジ、など

ガイド：今村彰生さん（大学共同利用機関法人総合地球環境学研究所）

**☆ガイドレポート昆虫編**

今回は、天気もよくたくさんの昆虫が見られました。カンサイタンポポの近くのロウアガキには小さな花がたくさんついていて、ハナバチ類が盛んに蜜を集めに来ていました。特に多かったのはニッポンヒゲナガハナバチで、長い触角が特に目を引きました。初めに気がついた参加者からなんというムシですか質問され、あとで調べたらこの蜂だとわかりました。春にしか出現しない蜂だそうです。

今日見られた昆虫：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ナミアゲハ、モンシロチョウ、テングチョウ、キチョウ、ジャコウアゲハ、ヤマトシジミ、ウラギンシジミ、セイヨウミツバチ、クマバチ、ニッポンヒゲナガハナバチ、ハンミョウ、ヤコンオサムシ、コアオハナムグリ、ベニカミキリ、ナミテントウ、キイロテントウ、クサキリ（幼虫）など

ガイド：大橋和典さん(京都大学農学部)　　　　　　　　　　　　　　京都大学農学研究科昆虫研有志

**☆参加者の感想**

参加者の感想文です。実名・匿名の指定がないかたはすべて匿名にいたしました。ご了承ください。

* 今日始めて参加させて頂きました。多種多様の植物がこの植物園でみることができました。1本の草花、1本の木を見るとき、その1本をとりまく互いの生命。光があり土があり風があり、そして小さな虫、鳥、命の連鎖。素晴らしいと思います。　　　　　　　　　　0（近所のかた）
* 初めて参加させていただきました。春の植物の息吹きに触れるのは心踊るものでした。主観的なばかりの小学生の作文ですが、次はも少し植物図鑑でも観て来ようかとおもいます。漢方に使われている植物なんかも教えてもらえるとうれしいな。　　　　　　　　　　（近所のかた）
* 感想ではないのですが「タンポポ」の話、面白かったです。そこで「西洋タンポポ」に対するのはなぜ「関西タンポポ」なのですか？「日本タンポポ」あるいは「関東タンポポ」もしくは「四国タンポポ」などなどあるのか、これは自分で調べてみます。　　　　　　　（近所のかた）
* 今回初めて観察会に参加させてもらいました。タンポポについて、その他植物について色々教えてもらうことができて楽しかったです。有難うございました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　（京大関係者のかた）
* 身近な植物でも同定できずにいたものがはっきりしてとてもいい勉強できました。(自分の中で整理できて)　　　　　　　　　　　（無記名のかた）
* 空間の大切さを感じます。日本人の精神構造を支える一つの柱ですので大切にしたいです。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近藤たみ子さん）
* 一般にはあまり知られていない事項まで観察できて、知識を広めることができました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* 本日のように対象を絞って詳しく説明していただき、良かったです。でも自由時間が多すぎましたね。　　　　　　　　　　　　　　　（地球研　宮島敏明さん）
* なにげなく見ていたたんぽぽが西洋たんぽぽと関西とがある事を知り、大変今日の観察会が有意義でした。　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* 今までふみつけていた花を、手にとってみるようになた。とてもよかった。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* 昨年も同じころに観察会にきたことを思いだした。昨年は知らなかった花の名前がわかるようになっていたのにうれしくなった。　　（地球研のかた）
* タンポポの花の研究、解りやすく有難うございました。　　　　　（近所のかた）
* タンポポの生育の説明をして戴いて良くわかった。　　　　　　　（竹林芳一さん）
* はじめて参加しました。美しい植物にふれられてよかったです。また参加したいです。１日１つ覚えたいです。　　　　　　　　　　（はじめて参加したかた）
* タンポポの種名の違いから、それが好む生育条件の違いを学べて観察会に来てよかった。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（未記入のかた）
* タンポポというものはいない、という表現に、ガイドさんの植物に対する愛情を感じました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　（京都大学教員のかた）